

「注意」 答えはすべて、解答题紙の定められたところに記入しなさい。
 本文は、問題作成上、表記を変えたり省略したりしたところがあります。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「ハングリー精神」という言葉がある。ハングリーとは英語で、飢えていること。飢えていると、食うためだったらなんでもやる、という必死さが出てくる。必死になるから、いろんな困難があってもくじけない。だから、成功するためには「ハングリー精神」が必要だとよく言われる。

① 逆の意味でよく使われるのが「ぬるま湯」。ぬるま湯につかっていると、いい気分です。でも入っていられるから、なかなか出てこない。気持ちのいい場所でぬくぬくしているだけで、チャレンジ精神が生まれなから、ついついだらけて成功しない。

成功するためには「ぬるま湯につかっている」のではダメ、もっと「ハングリー精神」をもたないといけない。そうしないと成功しない。あなたたちのおとうさんおかあさんの中には、そう考えて「もっとがんばりなさい」「もっと必死になりなさい」と、毎日塾や習い事に通わせようとする人たちがいるだろう。それもこれも、あなたに成功してもらいたいからなのよ、と。

逆に「甘やかす」のは、いわば「ぬるま湯につける」ことになるので、いいことはなにひとつない。あまり甘やかすと、がんばろうという気持ちが生まれな。せっかくがんばろうと思う人でも、その気持ちがそがれてしまう。世の中ががんばらずに成功した人なんていない。甘やかすのはなによりも本人のためにならない。そうやって「がんばり地獄」がはじまっていく。

一般論としては、わからなくはない。ほしがるものをほしのままに与えていたら、ガマンのできない、わがままな大人になる、と言われることもある。そういう子どもが大人になると、周囲の人たちと仲良くできなくて、結局敬遠されて自分が損をする。だから甘やかさないのはあなたのためなんだよ、と。

ただ、程度の問題はある。

さっきの②「ハングリー精神」と反対になるが、「ハラが減っては戦はできぬ」という言葉もある。食うもん食わないと、がんばろうと思ってもがんばれない。勉強しようと思っても、朝からなにも食べてなかったら力が入らない、頭も回らない。「ハングリー精神」は必要だが、それは「真剣になって取り組むことが必要」ということを言ってるんで、実際問題としては「ハラが減っては戦はできぬ」。野球選手だって相撲取りだって、いいプレイをするためには、食うだろう？ 「ハングリー精神」が必要だからって、何日も食わずに試合にのぞんで勝てると思う？

だから、食べるものはちゃんと食べておかないといけない。それは「甘え」ではない。「ハングリー精神」を發揮するための「条件」だ。③が④に甘やかすことは、がんばる気持ちをそぐことになるかもしれない。でも、必要な条件は④トノえておかなければ、がんばりようがない。あるラインがあって、そこまで与えるのは必要、それ以上を与えるのは甘やかし、ということになる。

じゃあ、そのラインはどこだろう？

たとえば、歩けない人に杖や車椅子を与えること。これは、必要か甘やかしか。ふつうは必要だと思われるんじゃないだろうか。もしその人に杖を買うお金がなかったとしても「だったらしょうがない。一生外を出歩けなくても仕方ない。甘やかしちゃいけない」とはふつう考えない。

では、仕事が見つからない中でお金がなくなると、仕事探しもできなくなると毎日の生活に困っている人に仕事を提供したり、⑤トウメン生活でできるよう支えることは？ ちょっと微妙、と思うかな。「仕事が見つからない」という前提に「甘え」が入っているように感じられるからだ。そういう声をよく聞く。

「歩けない」に「甘え」はない。それは客観的な医者の診断が出るからだ。でも「仕事が見つからない」には「甘え」がある。なぜなら、客観的には仕事はあるはずだからだ。

同じように「歩けない」という人たちの中にも、じつはがんばってリハビリすれば歩けるようになる人たちがいるはず

だ。簡単に「杖や車椅子を提供しましょう」と言ってしまうと、歩けない現状に「甘んじて」リハビリをがんばらなくなるからかえってよくない、と話を進めていくと、^③それもまた怪しくなってくる。結局、大事なことは「ハングリー精神」を失わないこと、「これでいい」と現状に甘んじないことだ……と、話は振り出しに戻る。必要と甘えを区別するラインは、その人の感じ方・考え方でも変わってくる。

そこで「本当に？」という言い方がよく使われるようになる。

「本当に歩けないんですか？」「本当に仕事が見つからないんですか？」と。このとき、そう聞く人は「A」と聞いている。

あなたの考える「必要」のラインは高すぎて、私には「甘え」の領域に入っているように見えますがね。客観的ならインはもっと低くて、高すぎるラインを設定するあなたは、じつはぜいたくで、そこに「甘え」があるんじゃないですか？ 「ハングリー精神」が足りないんじゃないですか？ ということだ。

この「本当に？」がいきすぎると、^④ソゴなしの「がんばり地獄」が待っている。

めんどくさい。誰かがかちりと「ここまで！ ここまで必要。ここから先は甘え」と決めてくれたほうがよほどすつきりする。人によってばらばらだから混乱する。ウチの両親なんて、ちよつとでも休んだら甘えていると騒ぎ出す。誰か決めてくれよ……って気分になる。

だけど、残念ながら誰も決めてくれない。誰かが決めようとしても、かならず反対する意見が出てきて、結局、かっちりと決まらない。^④それが「自由」というものらしい。そして自由は、めんどくさいけど、すばらしいものらしい。だって、誰かがひとりで決めることにしたら、その人だけがえらくなってしまうって、その人がめっちゃくちゃなことを言い出したときにも、もうこわくて誰もべつのことを言えなくなっているからだ。それだとみんなが不自由だし、しかも取り返しがつかない。王様は裸なのに、誰も「王様は裸だ」と言えなくなってしまう。

だから、私たち自身が、私たちの社会が、決めるしかない。どこまでが「必要」で、どこからが「甘え」なのか。私は、誰もが人間らしく生きられるようにするのが「必要」だと思っている。反対に、結果の出せない人間は生きることをあきらめるしかない、誰でも人間らしく生きられるなんて「甘え」だ、と考える人もいるだろう。

誰もが人間らしく生きられるという状態が、ある人には満たされて、べつの人には満たされない社会を、私はいい社会とは思わない。人間なのに人間らしく生きられなかったら、それがもし自分だったら耐えられないから。

あなたはどうかだろうか？ それも「甘え」と思う？
(湯浅 誠『どんとこい、貧困！』より)

問一 ~~~~~^⑦⑤のカタカナを漢字に直して、ていねいに大きく書きなさい。

問二 (1) ———^①「逆の意味でよく使われるのが『ぬるま湯』とありますが、「ハングリー精神」と「ぬるま湯」とはどう違いますか。

(2) ———^②『ハングリー精神』と反対になるが、『ハラが減っては戦はできぬ』という言葉もある」とありますが、「ハングリー精神」と「ハラが減っては戦はできぬ」とはどう違いますか。

問三 ———^③「それもまた怪しくなってくる」とありますが、「それ」が指す内容を答えなさい。

問四 Aに入る最も適切な文を、次のア～オから一つ選びなさい。

- ア 歩けないってうそでしょう？
- イ 仕事をみつつけてほしいのですか？
- ウ あなたのラインは高すぎやしませんか？
- エ 歩くことや仕事をみつけることは「必要」ですか？
- オ あなたが歩けるとか仕事が見つかるのかというのは「甘え」ではないですか？

問五 ———^④「それが『自由』とどうものさしている。そして自由は、めんどくさくはげば、すばらしいものさしている」とありますが、

- (1) 「ここの『自由』とはどういうものですか。
- (2) 「ここの『自由』とはどう表現を使っているのはなぜだと考えられますか。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学二年生のとき、はじめて学校の先生がきらいになった。

五十才くらいの女の先生で、きつちりした性格だったから、クラスからはみだしてばかりいるぼくが目についたのだろう。宿題を忘れたり、なにかをしくじったりすると、放課後ひとりのこされて叱られる。

西日でオレンジ色にそまった教室に、かん高い声がこだまする。ぼくは大人が怒っている姿を見ると、こころとは裏腹にニタニタしてしまうわらいクセがあった。こらえきれず、くちびるが笑うたびに、先生はうでの肉をぎゅっとなつねった。痛くて悔しくて悲しかった。

この先生が得意とする科目、書道の時間は地獄以外のなものでもなかった。

ちいさいときから絵がすきで、紙も筆も墨も①気おけない友だちだったのに、半紙を広げ、墨をすり、筆をすずりに沈めると、ぼくの気持ちも沈んでいく。

先生は怖い声で、

「おしゃべりはやめなさい」

「集中しなさい」

「背筋を正して、よい姿勢！」

「見本通りに書きなさい」

といいつけながら、看守のように机のあいだをいきまする。

書いたものがすこしでも間違っていると、上から朱色の筆で直される。からだはこわばるばかり。

学校では、男子は足の速い子、女子は字のうまい子がモテた。ぼくはそのどちらでもなかった。廊下にはりだされた花丸の習字の列に、ぶかっような姿をさらす自分の字がはずかしかった。

一年もしないうちに、ぼくの字は、②こたつの上で皮をむかれ放っておかれたみかんのように、ちいさくちいさくしぼんでいき、ノートにはたよりないえんぴつあとが、かろうじて文字のかたちとして、自信なさげに並ぶようになった。

学年があがって、シャープペンシルをつかい、細い線がひけるようになると、どこまでちいさい字を書けるか、挑戦したくなった。

テストのときは、答えの欄に一、二ミリ角の字で書いた。うまい下手どころではなく、だれも読めない。先生への無言の抵抗のつもりだったが、返された答案用紙には、バツテンの嵐がふきあれていた。赤ペンで「?」「読めない」と書きこまれ、どの科目もことごとく〇点になった。

インドの町なかには手書きの文字があふれている。日本の看板がテレビ局のアナウンサーのように正確で落ち着いた声だとしたら、インドの看板はがちやがちやした市場の売り声のように、おしゃべりで、おせっかいな声だ。もちろん、そのほうが楽しいにきまっている。

商店の看板以外にも、バスの時刻表、カセットテープのラベル、大通りや路地の標識、車やオートリクシャーのナンバプレート、塀の落書き……あちらこちらの文字から声がする。

車のフロントガラスには色とりどりのステッカーで、持ち主や神さまの名前がおおきくはられている。食堂の黒板やホワイトボードに、日がわりのおすすめメニューが書かれている。

映画館でお客さんが満員御礼になると「House Full」の手書きの札がかかげられる。

トラックのおしりに、と派手な色のペンキで書かれた「Horn OK Please」という文字は、クラクションはおかまひなし！と、まわりの車にしゃべりかけているみたい。

だれがつかってもおなじくきれいに印字されるパソコンやタイプライターの文字とはちがい、手書きの文字からは、ひ

とりひとりの人間の性格や熱が感じられる。うまいも下手もない。英語も土地のことばも、自由でのびのびしている。

インドから東京に帰ってくると、空港に降り立った直後から、手書きの文字がほとんど目にはいらなくなって、いつも③からだか冷えていくようなおもいがした。

だから、日本の家にインドの友だちから手紙が届くとうれしかった。便せんにおおらかに並ぶ、くせのあるアルファベットの字を見ていると、彼らの声から家のおいまでが思いだされた。封筒のなかには、きまってテルグ語新聞の映画欄の切り抜きがはいっていた。大きなスターの顔とともにおどる文字に、じわり涙がにじんだ。ぼくは文字のホームシックになっていた。

いまでもぼくの字は、おせじにもきれいとはいえない。漢字も部首を省略し、てきとうに覚えてあるものもあって、子どもにたずねられたとき、正しく書けているか、なかなか怪しいものだ。

装丁の仕事を始めて間もないころ、とある本の題字を描いた。個人的にはけっこういい仕上がりになったなあ、と気に入っていたが、しばらくしてほかの編集者とその本の話になったとき、

「ああ、あのきたない字の本！」

といわれた。友だちといえど、ひそかに尊敬していた編集者だったのでショックだった。

家に帰って、本棚から本をひっぱりだして、あらためてながめた。たしかに、なんて幼稚で、品のない字だろう。ぼくは、ほめられるとすぐ調子にのるが、批判にはめっぽう弱い。

その一件があつてから、描き文字は封印。十数年以上、本のタイトルを手書きでデザインすることはなくなった。

一方で、ぼくにはずっとあこがれる人がいた。装丁家の平野甲賀さん。本をたくさんつくっていて、とくに描き文字が有名なデザイナーだ。一見ラフで雑にも見えるが、じつはとてもいいのにつくられている。それはぼくがインドで見た呼吸し、おしゃべりする文字たちと似ていた。

多少部首が変形していても、線が一、二本なくても、四角が丸に、丸が三角になっていてもちゃんと読める。昔のサーカス小屋のポスターのようっていて、時代に流されない新鮮さをもっている。どんなにことばを並べても、甲賀さんの描き文字のすばらしさは語りつくせない。

いまでは、パソコンで本のデザインをすることがあたりまえになったけれど、何十年前にも、装丁という仕事に、いち早くパソコンをもちこんだ人でもある。④甲賀さんにとってパソコンは道具のひとつ。できあがった文字たちはまるで手作業でつくったかのように、おおらかにつかいこなしていた。

(矢萩 多聞、つた『美しいってなんだろう?』より)

〈注〉 看守……刑務所などで囚人の監視をする人。

オートリクシャー……東南アジアや南アジアの町なかを走る自動三輪のタクシー。

装丁……本の表紙やカバーの図案や素材をデザインすること。

問一 — ①「気のおけない」の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 相手に遠慮や気配りをする必要がない
イ 仲が悪くなってしまったので気まずい
ウ 話さなくてもお互いの気持ちかわかる
エ 相手の考えが読めなくて油断できない

問二 — ②「こたつの上で皮をむかれ放っておかれたみかんのよう」とはどういうことですか。

問三 — ③「からだか冷えていく」とありますが、ここではどういうことですか。

問四 — ④「甲賀さんにとってパソコンは道具のひとつ」とはどういうことですか。

三 次の詩を読んで、下の問いに答えなさい。

小さな嘘

ひがしだ なおき
東田直樹

誰かがついた 小さな嘘

それを笑った人がいた

誰かが笑った ささいなうわさ

それを怒った人がいた

誰かが怒った つまらない話

それを聞いて 誰かが泣いた

何が正義で

何が悪

人が人をおとしめる

それが 世の中

それは 大きな嘘

問一

「誰かが怒った つまらない話／それを聞いて 誰かが泣いた」とありますが、ここでの「つまらない話」とはどのような話ですか。

問二

「それは 大きな嘘」とありますが、詩の題名をふまえると、どのような意味を持つと考えられますか。「それ」が指す内容もふくめて書きなさい。

目		二				日					
問二	問一	問四	問三	問二	問一	問五	問四	問三	問二	問一	
						(2)	(1)		(2)	(1)	㊦
											㊧
											㊨
											㊩

解答用紙

評点

令7 — 中
国

受験番号
氏名